

【人づくり】

子育て支援施設運営費（子育て支援センター・病後児保育室）	23,747 千円
ICT教育用タブレット型パソコン導入事業（各小中学校）	7,384 千円
矢部高校応援事業	4,923 千円

【産業づくり】

地方創生総合戦略事業（食農観光塾事業など）	36,669 千円
日本型直接支払事業（中山間地域等直接支払交付金など）	575,963 千円
新規就農交付金	1,500 千円
森林整備事業補助金	13,898 千円
有害鳥獣捕獲隊助成金	56,070 千円
八朔祭大造り物小屋整備事業	14,000 千円
そよ風パーク改修事業	40,000 千円

【環境づくり】

光情報通信基盤整備事業補助金	203,000 千円
治山事業（2箇所）	21,676 千円
地方創生道整備推進交付金事業（町道大川大矢線など5路線）	233,916 千円
大矢野原演習場周辺民生安定事業（町道上鶴線・水の田尾下鶴線）	198,150 千円
社会資本整備総合交付金事業（町道長谷花立線など7路線）	369,174 千円

【地域づくり】

自治振興区助成金	26,301 千円
ふるさと寄附金事業	142,000 千円
若者向け定住促進分譲住宅用地造成事業（浜町事務所跡地）	74,000 千円

【復旧・復興】

山の都創造ファンド事業（創造的復興支援事業補助金など）	22,500 千円
熊本地震復興基金交付金事業（被災宅地復旧支援事業補助金など）	137,813 千円
農業施設・林業施設災害復旧事業	292,593 千円
公共土木施設災害復旧事業	198,206 千円

●特別会計等予算

会計名	歳入・歳出
国民健康保険	2,696,261 千円
後期高齢者医療	241,085 千円
介護保険	2,894,149 千円
国民宿舎	73,503 千円
住宅新築資金等貸付事業	4,646 千円
簡易水道	732,134 千円

●公営企業（法適用）会計予算

会計名	歳入	歳出
水道事業	87,845 千円（収益）	87,845 千円（収益）
	384 千円（資本）	46,534 千円（資本）
病院事業	1,049,196 千円（収益）	1,049,196 千円（収益）
	49,620 千円（資本）	161,247 千円（資本）

より、町内の若者の定住促進やI・Uターン者等の受入環境の充実を図ります。

平成27年度に着手した光情報通信基盤整備事業に2億300万円を計上しました。本年度、町内全域で超高速の光通信を開通し、インターネット環境の充実を図ります。

【復旧・復興】
農地や農道等にかかる農業施設や町道や河川にかかる公共土木施設等の災害復旧費に4億9,079万円計上しました。

平成28年に発生した熊本地震と豪雨災害について、復興基金事業費を1億3,781万円盛り込み、地域コミュニティ施設等の再建や被災宅地復旧等への支援を行います。また、農業施設や公共土木施設等の災害復旧費については、平成29年度に計上しており、平成30年度に繰り越して実施していきます。

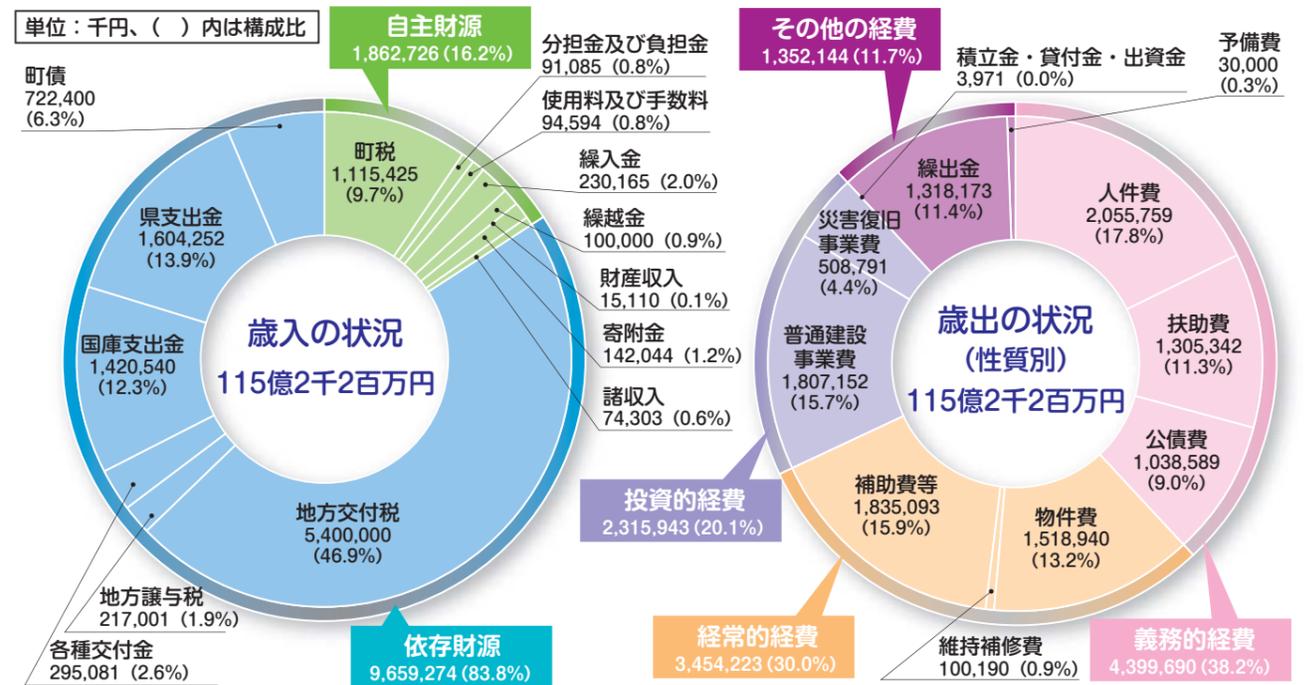
歳入では、全体の約半分を占める地方交付税を、前年14.9万円減額して計上しました。合併特例の縮減等が影響するためです。このような状況から、より一層の経費の節減や合理化等を図り、行政サービスに必要な財源を確保することが重要となります。

このほか主要な施策は上記のとおりです。

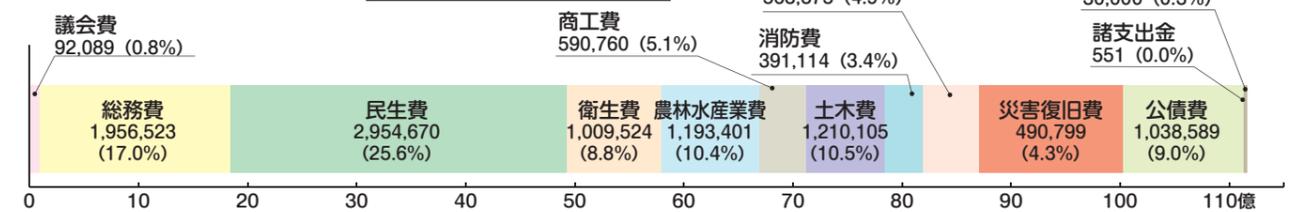
平成30年度 山都町の 予算

一般会計

115億2千2百万円



●歳出の状況（目的別）



総額 115億2千2百万円

の平成30年度一般会計当初予算を編成しました。平成29年度当初予算（6月補正含む）に比べ3億3千2百万円の減額となりましたが、これは平成28年の熊本地震及び豪雨災害に係る災害復旧費の減が主な要因です。

ただし、災害による復旧・復興事業費については、本年度の復興基金事業費や平成29年度から平成30年度への繰越事業を含め継続的な事業として実施しています。

【人づくり】
各小中学校へのタブレット型パソコン導入費に738万円計上しました。ICT教育環境の充実を図ります。

矢部高校応援事業費に492万円計上しました。入学支度金を増額し助成するとともに、在校生には教科書購入などの助成を引き続き行います。

【産業づくり】
地方創生総合戦略事業費に3億666万円を計上しました。農産物のブランド化・販路拡大事業、食農観光塾事業や地域しごと支援事業等に取り組み産業振興や移住定住の促進を図ります。

【環境づくり】
下馬尾地区に分譲住宅用地を整備します。造成工事費として7千400万円計上しました。この住宅用地の分譲に